

2025年1月

いちご株式会社  
2025年2月期 第3四半期  
グローバル Web 決算説明会 Q&A サマリー

【説明者】

いちご株式会社（証券コード 2337 東証プライム）

代表執行役会長                      スコット キャロン  
財務本部事業推進部部長          森作 ダン

※ 英語で開催された機関投資家向けグローバルカンファレンスコール Q&A の要約です。  
当社 HP に動画配信と決算説明資料を掲載しておりますので、是非ご参照ください。

英語の動画配信

[www.youtube.com/watch?v=tydww8jIm5Y](http://www.youtube.com/watch?v=tydww8jIm5Y)

英語の決算説明資料

[www.ichigo.gr.jp/news/p\\_news\\_file/file/Ichigo\\_20250109\\_Corporate\\_Presentation\\_FY25Q3\\_ENG.pdf](http://www.ichigo.gr.jp/news/p_news_file/file/Ichigo_20250109_Corporate_Presentation_FY25Q3_ENG.pdf)

1. ホテルの RevPAR(※)上昇が続いているなか、業績予想の修正可能性は

[キャロン]

通期でアップサイドを見込んでいるものの、今回は上方修正していない。ご指摘のとおり RevPAR の伸びにけん引され、ホテルは賃料、オペレーション収益、AM 報酬のストック収益が増加している一方、「いちご・レジデンス・トークン」のフロー収益が予想の数字に到達しない見通しである。

(※) RevPAR = Revenue Per Available Room (平均客室単価×平均客室稼働率)

2. いちごオーナーズにて来期 AUM 1,000 億円に拡大を予想、全体では 4,500 億円とのことだが、ホテルやオフィスの AUM 拡大についてどう見ているか

[キャロン]

決算説明資料 21 ページの AUM 予想グラフにもあるが、今期は私募リートを追加しており、今後の拡大が期待される。ただ、上場リート、特にいちごオフィスに関しては、現在の投資口価格は公募増資を行う水準になく、物件の入れ替えで売却したキャッシュでの取得に注力している。アセットクラス毎に戦略は異なるが、AUM 拡大に努めていきたい。

3. 上場リートの投資口価格は割安であるので、投資口買いは考えているか

[キャロン]

おっしゃるように、リートの投資口価格は本質的価値を正しく反映していないと考える。投資口買いの判断は各投資法人によるものではあるが、かかる投資口価格の水準であれば、ご指摘のとおり投資口取得の好機と考える。

以 上